（様式1）

学校番号	33	学校名	茨城県立茨城東高等学校

令和7年度道徳教育全体計画

諸法規

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領
・茨城県教育委員会施策

校訓

自主・責任・協調

学校の教育目標

・自分の発想やアイディアを大切にし、何にでもチャレンジする姿勢を育成する。
・学校生活を通じて、集団活動の良さを理解し、思いやりの心を持った良い人間関係を育成する。

生徒の実態

・各年次2クラス構成で、いずれも定数を満たしていないうえに、1年次は全体で40名しかおらず、生徒数の減少が続いている。
・半数強が就職希望、進学希望の多くは専門学校で、大学希望者は1割に満たない。
・家庭環境が複雑な生徒や経済的に厳しい家庭の生徒も多い。
・入学時点で学習コンプレックスを抱えている生徒も多数いる。
・情緒面や対人関係面などで特別な教育的支援を必要とする生徒も増えてきている。

保護者の願い

自分の人生をどう生きればよいか、生きることの意味は何かを考え、幸せな人生を歩むための実践力を養ってほしい。

道徳教育重点目標

①社会のルールやマナーを理解し、責任を持って行動できる。
②夢や希望の実現を目指し、あきらめずに忍耐強く取り組む。
③自他の生命や人権を尊重する精神と態度をもつ。
④社会の一員としての自覚を持ち、社会の発展に貢献できる。

地域の実態

地域（茨城町）に唯一の高等学校であるため、地域の方からの関心は高く、本校の教育活動・学校行事に協力的である。

各教科・科目

国語	言葉で伝え合う力を高め、思考力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨く。
地歴	歴史や生活・文化の特色についての理解を深め、国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。
数学	現代の社会について理解を深め、人間としての在り方生き方について自覚し、公民としての資質を養う。
理科	種々の事象を数学的に考察し処理する能力を高め、数学的な見方や考え方のよさを認識する態度を養う。
保体	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、科学的に探究する能力と態度を育てる。
芸術	体を動かすことなどを通して健康や安全について理解を深め、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。
外国語	芸術を愛好する心情を育て、技能の習得とともに豊かな情操を養う。
家庭	言語や文化に対する理解を深め、相手の意向などを理解し、自分の考えを表現する実践的コミュニケーション能力を養う。
情報	家族・家庭の意義や社会との関わりについて理解し、生活に必要な知識と技術を習得させる。
総合的な探究の時間	社会の中で情報や情報技術が果たす役割や影響を理解させ、情報科に対応できる能力・態度を育てる。
	多くの選択科目を設定することにより、多様な社会に対応したライフプラン作成の一助とする。
専門	企業が果たすべきコンプライアンスや個人情報保護の取り組みを理解させ、自らも参加しようとする態度を育てる。（商業）

特別活動

ホームルーム活動

①学校行事
校内外での体験的な活動を通じて他者との理解を深め、一人一人の心の成長を図る。
②生徒会活動
生徒が中心となり、学校生活の充実や改善・向上を図ろうとする自主的・実践的な態度を育てる。
また、地域社会でのボランティア活動への取り組みを通して郷土愛・愛校心を育てる。
③ 部活動
基本的な生活習慣の確立と部員との交流・他校生との交流を通し礼儀を学ぶ。

公民科

公共

単元「公共の扉」における学びを通して、
①自らの体験を振り返り、自らを成長させる人間としての在り方・生き方を理解する。
②人間は個人として相互に尊重されるべき存在であることを理解し、対話を通して互いの様々な立場を尊重することができるようにする。

生徒指導

・基本的生活習慣の確立及び規範意識の向上を通し、茨城東高校の生徒としてのマナーの確立を図る。
・安全教育について諸関係機関と連携した指導に努める。

家庭との連携

・公開授業や授業参観、三者面談を実施し、家庭との連携を図る。
・各種ガイダンスや行事等における活動の様子をホームページや年次だよりを通じて伝え、教育活動への理解を深める。
・状況に応じて家庭訪問や三者面談を行い、連携を深める。

地域社会との連携

・地域の自然環境学習、農業体験、ボランティア活動等を通して地域との交流を深める。
・警察署等の機関と連携し、交通安全マナーの向上を図る。
・学校公開等を通じ、地域住民からの理解を得る。